

TETTO COLUMN ～館長のつぶやき～

🗨️ 「ロビーはコンサートホール」 2024/8 「RE:TETTO」 No.80

TETTO ではプロ・アマチュアを問わず、市内の演奏家・演奏団体や釜石にゆかりのある方々をお招きして、1時間程度の「TETTO ロビーコンサート」を年に数回開催しています。曲目は皆さんがよくご存じのものを多く取り上げていただくよう演奏者をお願いしています。TETTO のロビーの構造は、東半分が高く西半分が低い天井となっており、まるでホール A の音響反射板と同じような効果があります。エントランスを入るとそこはコンサートホール！こんなホールは全国を探してもなかなかありませんよ。今回は 8 月 11 日(日) 15 時より「ピアノと歌で彩るひととき」と題して、青い山脈・川の流れのようになど、ご来場のみなさんと一緒に歌う企画もご用意しております。そして 9 月 11 日(水)の夕方からは、釜石ふるさと大使でもあるオーボエの池田肇さんが登場いたします。入場は無料です。乞うご期待！



🗨️ 「トイレはどこ？」 2024/9 「RE:TETTO」 No.81

大きな事業やイベントで、はじめて TETTO に来場された方から「男性(女性)のトイレはどこ？」と尋ねられることがあります。トイレの入口の表示はもちろんのこと、ロビーの地面にも誘導表示が多数あるのですが、それでも問い合わせや、トイレを探す人の姿を見かけることがしばしば。その原因はホール A (大ホール) を挟んで、南北の両端に男女のトイレが設置されているからだと思います。測ってみるとその距離は約 20m。思った以上に離れていますね。特に北側のギャラリーやスタジオを利用される女性はトイレまで 30m くらい歩かなくてはなりません。それではあまりにも大変なので、実は北側の男性トイレの後方に、主に女性が使えよう男女共用のトイレ 2 基と多目的トイレ 1 基を設置しています。ホールの構造を変えることは当面できないので、これからもよりわかりやすい表示や案内を心がけてまいります。



🗨️ 「打開策」 2024/10 「RE:TETTO」 No.82

釜石には数多くの芸術文化団体があり、また個人で活動している芸術家の方々もいます。釜石市芸術文化協会には華道・茶道・書道・絵画・水墨画・写真・ビデオ・山野草・ステンドグラス・切手収集・舞踊・盆栽・手芸・切り絵・バレエ・合唱・吹奏楽・バンド・大正琴など様々なジャンルの団体が加入しており、TETTO もたくさんの団体に利用いただいておりますが、その団体の多くが、ある問題を抱えています。それは会員の「高齢化」などによる会員の減少。さてその打開策は？まずはファンを増やすために、活動や作品をより多くの方々に見ていただく機会を多く作ることに。その情報をスマートフォンなどで、できるだけ多くの会員が SNS で拡散すること。スマホは年齢に関係なく今や生活必需品。自分たちの活動をより豊かなものにするためにも大いに活用していきましょう！



🗨️ 「感謝の気持ち」 2024/11 「RE:TETTO」 No.83

TETTO はこれまでたくさんの皆様に様々なジャンルで練習利用をしていただいております。私は、その練習のお帰りの際などに利用の感想をお聞きすることや、思っていることとお話する機会を持つように意識してまいりました。そのお客様との意見交換などを通じて、どうしてもやってみたいことを見つけました。それは日頃の感謝の気持ちを込めての「利用者感謝祭(仮題)」です。利用者の皆さんがこれまで TETTO を利用し練習してきた成果を存分に発揮していただく発表イベントをイメージしています。ダンス、ロックバンド、ジャズ、ドラムやギターセッション、DJ、ピアノ、吹奏楽、アンサンブルなどなど・・・もし皆さんの情報の共有が可能であれば、利用者同士のコラボレーション(共演)も生まれるかも。皆様のご意見をお待ちしております。

